

大妻女子大学文学部日本語教員養成プログラム ～2024年度文学部入学生からスタート～

■大妻女子大学文学部では、2024年度入学生から、日本語教員養成プログラムをスタートしました。文学部の日本文学科・英語英文学科・コミュニケーション文化学科の学生が履修できる新しい学びのプログラムです。

■日本語教員養成プログラムとは――

外国人に対する日本語教育に必要な、日本語教育・日本語・日本文化・異文化理解・国際協力等の深い知識と教育技術を学ぶ、大妻女子大学文学部独自の学修プログラムです。

■プログラム設置の背景――

グローバル化の進む今、国内における日本語学習者は全国に拡がり、海外における学習者も増加しています。また、その学習者は「大学の留学生」だけではなく、「就労者」「学校児童」等、多様化しています。このような新しい状況に対応する、質の高い日本語教員の育成が求められているのです。

■プログラムを履修すると――

卒業時に文学部日本語教員養成プログラム修了証を交付します。

このプログラムの学びは、新しい日本語教育をめざす方だけではなく、世界を視野に入れて日本文化・文学を発信したい方や、国際社会で様々な仕事をしたい方に、大きな力となるでしょう。

■文学部の3つの学科を横断する学びの場――

このプログラムは、文学部に共通する「ことば」の学びと、大妻女子大学文学部の3つの学科、日本文学科・英語英文学科・コミュニケーション文化学科の専門的学びをいかし、日本語教育に必要な力を身につけます。

文学部のカリキュラム

★プログラム科目：文学部の「ことば」の学び＋日本語教育に必要な広い知識と技術★

日本文学科の専門的学び

日本語学・日本文学・漢文学から、日本語のしくみや運用・日本の文化・歴史の深い学び

英語英文学科の専門的学び

英語学・英文学・英語教育学から、言語のしくみや運用・国際交流・国際協力の深い学び

コミュニケーション文化学科の専門的学び

異文化コミュニケーションとメディアコミュニケーションについての深い学び

■学科を横断する★プログラム科目★とは――

日本語教育に必要な日本語学や日本語教育学の基礎的な科目、教育実習などの実践的科目があります。特に、日本語教育に関する科目は、このプログラムのために開設された、独自科目(◇)を含みます。

文学部日本語教員養成プログラムカリキュラム表

分野	開講科目
A 言語学	ことばの仕組みと働き〈文学部共通〉* 英語と日本語〈文学部共通〉 英語学(語法・文法)
B 日本語学	◇日本語学要説I*または日本語学概説* 日本語学講義
C 日本語教育	◇日本語教授法I* ◇日本語教授法II ◇日本語教材研究I* ◇日本語教材研究II ◇日本語教育実習I* ◇日本語教育実習II*
D 言語と社会・文化・地域	◇日本語教育学特殊講義(社会と言語)* 比較文学 伝承と文学 日本の思想A 日本の思想B 日本の美術 日本の芸能と文化 日本の映像メディア 日本の歴史と社会 日本の歴史と文化 日本語の歴史〈文学部共通〉 江戸・東京の文化〈文学部共通〉 日本文化とアジア〈文学部共通〉 日本語と社会〈文学部共通〉 社会言語学 国際関係論 欧米文化論 言語文化論
E 言語と心理・コミュニケーション	◇日本語教育学特殊講義(心理と言語)* ◇日本語教育学演習I ◇日本語教育学演習II 日本語学演習I 言語・文化コミュニケーションI 言語・文化コミュニケーションII 表象文化コミュニケーションI 表象文化コミュニケーションII

プログラム必修科目 カリキュラム表中「*」付き太字で示した、以下の8科目、計14単位

ことばの仕組みと働き(2単位)

日本語学要説Iまたは日本語学概説(日文必修・日文限定)(2単位) 日本語教授法I(2単位)

日本語教材研究I(2単位) 日本語教育実習I(1単位) 日本語教育実習II(1単位)

日本語教育学特殊講義(社会と言語)(2単位) 日本語教育学特殊講義(心理と言語)(2単位)

プログラム選択必修科目 カリキュラム表中の5分野のうち、「C日本語教育」「D言語と社会・文化・地域」、「E言語と心理・コミュニケーション」の各3分野から、最低1科目、計6単位

プログラム選択科目 カリキュラム表の全科目から、最低3科目、計6単位

① 以上の合計26単位以上の取得をプログラム修了要件とする。

(以上は、文部科学省の日本語教育に必須の学修項目を満たすものである。)

② プログラム修了要件単位26単位を取得した学生には、卒業時に「文学部日本語教員養成プログラム修了証」を交付する。

(文部科学省の登録後は規程に則した修了証書を発行することになる。)

※プログラム履修のために、各学科生ともに、通常卒業に必要な単位のほかに4年間で8～12単位程度を多く履修する必要があります。

※入学後、1年次の後期(1月25日(土)4限予定)に、文学部日本語教員養成プログラム履修ガイダンスを行います。その説明を受けた後で、プログラム履修申請を行います。